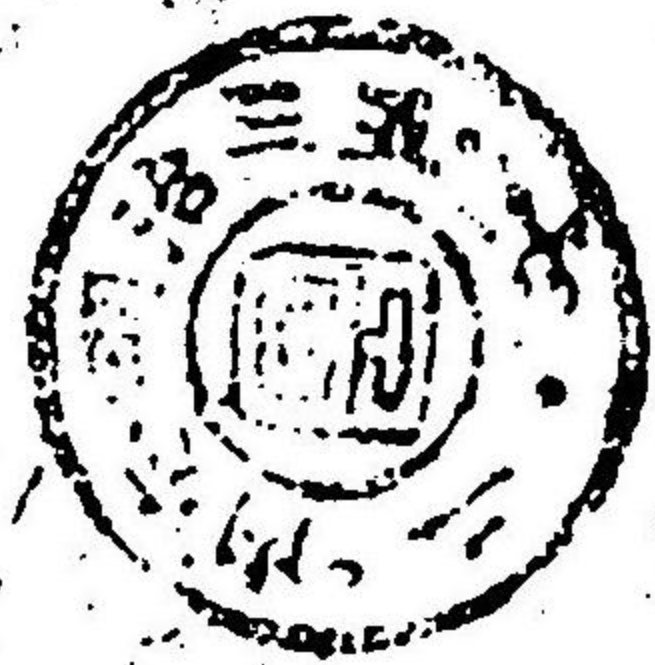


脚

以

正

款
是



「京都遊學案内」の剗削成り、來りて序を余に需む、余未
た其全斑を詳かにするに違あらざるも、本書は青年
出世の羅針盤を以て自ら任し、京都市内に於ける各
學校の状況を網羅して漏すなく、而して殊に重きを
實業教育に措く者の如し、輓近京都の文運日を逐ふ
て進歩し、學生の此地に集合する者、復た往時平安京
時代の比にあらず、本書の世に益する決して尠少な
らざるへし、一言を書して以て之を贈る

明治三十五年二月一日

京都商業會議所會頭 西村治兵衛

都府の學生に於ける猶ほ舟の水に於けるが如し、舟の新造、機装、荷積、航行皆水の便に頼りて以て全きを得るなり然れども未だ其効を成すに至らずして間々沈没破毀の厄に陥ひるもの勤からず、此關係や識者の最も注意を要する所とす、京都は所謂千年の帝都にして隆頽興亡の跡炳乎として明かなり、我國民の主腦依りて以て此地に存す、其學生の京都に待つあるや論なく、京都の國家に負ふ所以のもの誠に多大なり、曷ぞ知らん、京都の所謂紳士なるもの、白晝妓を擁して得々大道を濶歩するものあり、薄暮揚々として狹斜の巷に自用车を聯ぬる者あり、此等は小にして學生を侮蔑し、大にして社會を蠱毒す、學生を薰陶するの長者にあらずして、社會を腐敗せしむるの「ヤチルス」なり、況んや其以下の輩にして不徳、不信、詐欺、拐帶到らざるなきが如き又深く

恠むに足らざるなり、而して社會は、未だ之に與ふるの制裁なく、
學生の優遊墮落するもの、従つて多からんとす、則ち警醒し、則ち
矯正し、以て學生の針路を示す、此書の眞意果して茲にありとせ
ば、寔に國家の慶事なり、聊か平日の所感を記して、著者の需めに
酬ふと爾云

明治壬寅春二月

於洛陽僑居 岩村 茂識

本書編纂に就て

由來千有餘年の舊都として夙に中化の中心たりし吾京都市の、故樞村知事以來更ら
に他に率先して教育の新制度を敷きしより茲に三十餘年、教化日に盛んに文教月に
新たに一技一藝の末に至るまで文物整然として備はらざるなし、其志を山紫水明の
間は修め其心を朝霞夕暉の中に養ひ、眞を究め、美を極むる天然の教育地たるや天下
寔論の存するあれば今復た之れを謂はざるなり、此自然の趨勢は、輓近東山の隈、鵬河
の塵行く所として青年あらざるなく至る所として書生あらざるなし、聖代の慶事明
治の德澤何物か之に如かん、然れども奈何せん、澆季の世、氣運の向ふところ浮華徒ら
に専とし、復た教ゆるものと教へらるゝものどなく、人をして殆んど教育の何物たる
を疑はしむ蓋し止むる得ざるなり、都下の青年は猶且つ父母膝下の嚴訓を有するも
彼地方登龍青雲の士の朝に笈を負ふて夕に都門に入るや、滿腔鬱滯たる一時の客氣
に制せられ、其前途の犀狼たり虎豹たるやも復た深く省みるの暇なく、埋骨何期墳墓
地入間到處有青山、と大呼せし當年血氣の雄心も何れの時か銷磨して再び往日の影
を止めず、將來未だ嘗て結はざる旅憲の夢は見るとして奇ならざるなく、聞くとして

眞ならずなく否然洒然終に世俗と遷轉して醉生夢死の間に墮落し茫漠として自
 笑せざるもの殆んど少れなり、況んや春深くして鷗夢濃なるの邊秋寂ひて雁聲波に
 落つる處交友善ならんとして歩々深淵に陥いり、理想定まらんとて情慾其間に乘せ要
 するに事を其甫ひるに詳かにせせ道を其求むるに明らかにせせして此に至るもの
 比々皆然らざるなし嗚呼此卷に身を寄する幾多の青年は幸福なりと云へば幸福な
 る夢望なりと云へば多望なり然れども復た誠に不幸なり危険なり、一面に光明あり、
 一面に暗黒あり、學者の淵叢なると共に無頼兒の巢窟たり、慈善家の隣家に詐僞師の
 住居あり、大學教授の向ひに盜賊の隠れ家あり、親切の裏に輕侮潜み、名譽の下に貪婪
 伏す、大善徳大惡徳も蓋し復た此間にあり戒めざる可んや

本書編纂の趣旨は即ち京都市屈指の學校を指摘し其旨趣と實際とを調査して之れ
 を世上に紹介し以て此幾多の青年諸子をして其意氣未だ銷沈せせ其志未だ迷はざ
 る時に及びて其據る處を知らしめ其往く處を定めしめんと欲するに外ならざるな
 ら彼門構は徒らに大なるも内容は寺小屋に異なるなく一時世上を瞞着せんと欲す
 る者の如き者は元より編者の取らざる所なり、凡る私立學校の弊害は書籍器具の完

備せざると制度秩序の整頓せざるに存す然れども一團の熱誠と光明は凝りて人の
 肝膽を刺す豈に自から異なるの長所なからんや、一家の事情の爲め其速成を希ふの
 青年は却て私立學校に於てするを便とす官立學校は私立學校に比して元より不整
 備不完全の嫌ひなきも其徒らに皮想に流れて精神教育を逸するは今世の通患たり
 只た願くは彼傀儡師の如き俳優の如き教育者なからんことを若し夫れ學費に餘裕
 あり修業年限に制限なきものは順序を踏んで大成を期するに如かさるは又説くを
 要せざるなり本書幸ひに教育界急務の一端に投じ吟詩放歌の聲近隣を驚かすの裡
 千々に心を碎く彼可憐なる青年をして君子岐路を見て哭するの嘆なからしめば獨
 り編者の幸樂に止まらざるなり

明治三十五年春一月

京都遊學案内

目次

官立學校の部	
京都帝國大學	一
第三高等 <small>水</small> 學校	一五
京都高等工業學校	二一
京都府醫學校	二二
第一中學校	二六
美術工藝學校	二八
染織學校	三三
商業學校	三四
府立高等女學校	三八
	四二
	頁

市立盲啞院

二

四四頁

私立學校の部

同志社

五一頁

京都法政學校

五五頁

開成學校

中學部

五八頁

國民學校

六〇頁

明進學館

六三頁

省思館

六五頁

鳴鶴學館

六六頁

醫學豫備校

六七頁

獨逸學校

六九頁

京都數學院

同頁

獨逸夜學校

同頁

光堂塾

七〇頁

私立英語學校

同頁

京都簿記專開學校

同頁

大阪簿記學校京都分校

七一頁

京都商業學校豫備費

七二頁

師範學校豫備校

七四頁

翰墨林舍

同頁

京都實業夜學會

七五頁

平安女學院

七七頁

京都淑女學校

八四頁

文中女學校

八九頁

京都女子德育學校

九一頁

京華看病婦學校

九三頁

三

京都看護婦學校

九四頁

看病婦學校

九六頁

産婆學校

九七頁

看護婦養成所

同頁

附

同頁

京都市立尋常小學校及幼稚園名并ニ所在地

遊學案内

官立學校の部

坐ける學生に對するに尙ほ死せる木偶に對するが如く動もすれば金粉これ塗り綺羅これを飾りて徒ちに外觀の美に偏するは官立學校に於て時に見るの弊害なり然れども相率ひて秩序規律の下に研磨し其精を抜き其華を専らにす竟に私立學校に於てするを得也

京都帝國大學

上京區吉田町

當時教育界の泰斗とし將來文部大臣を以て目せらる、木下廣次氏が大學總長として銳意精勵其指導の任に當り況んや幾多の望を囑せる新進諸博士の其講師となるありて將さに東京大學を凌駕せんとするの勢あり

學年は七月一日に始まり入學は毎秋季學期の始め一回とし入學受験料金五圓を要す
聽講生、專修生の設けあり其聽講生は學生の資格なき者にして科目の講義若くは實驗を望むものに缺員ある場合を限り專修生は高等學校醫學部及舊高等中學醫學部卒業生京都、大阪、名古屋醫學校卒業生、舊別課醫學卒業生舊甲種醫學校卒業生、外國に於てドクトルの稱號を得たる者及醫科大學生にして退學したる者は學力試問を行はすして入學を許可する事となせり
各科課程左の如し

○法科大學學科課程

法科大學法律學科及政治學科ニ屬スル諸科目ノ授業時數ヲ定ムルコト左ノ如ク

法律學科

憲法	一年間	每週三時
民法	三年間	每週四時
商法	二年間	內 一年間每週三時 一年間每週四時
破產法	一年間	每週一時
民事訴訟法	一年間	每週四時
刑事訴訟法	二年間	每週二時
行政法	二年間	每週二時
國際公法	一年間	每週三時
國際私法	一年間	每週二時
法制史、比較法制史	一年間	每週二時
羅馬法	一年間	每週三時
○英吉利法	四年間	每週二時

○佛蘭西法	四年間	每週二時
○獨逸法	四年間	每週二時
法理學	一年間	每週二時
經濟學	三年間	內 一年間每週三時 二年間每週四時

備考○印ノ科目ハ各其一ヲ選ハシムルモノトス

憲法	一年間	每週三時
國法学	一年間	每週三時
民法	三年間	每週四時
商法	二年間	內 一年間每週三時 一年間每週四時
刑法(總論)	二年間	每週二時
經濟學	三年間	內 一年間每週三時 二年間每週四時
財政學	一年間	每週三時
統計學	一年間	每週一時
政治學、政治史	二年間	內 一年間每週三時 一年間每週四時
行政法	二年間	每週二時

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	秋季學期	春季學期	秋季學期	春季學期	秋季學期	春季學期
積分論						
力學						
幾何學						
數學演習						
最小二乘法						
物理實驗						
化學實驗						
計	二九	計三八	計三九	計三七	計三九	計三九

第三 純正化學科課程

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	秋季學期	春季學期	秋季學期	春季學期	秋季學期	春季學期
積分論						
幾何學						
力學						
數學演習						
最小二乘法						
物理學實驗						
計	二四	計二六	計一八	計一八	計一七	計一七

第二 物理學科課程

學科	第一學年		第二學年		第三學年		
	授業時間	秋季學期	授業時間	秋季學期	授業時間	秋季學期	
物理學實習		三	三分拆實習		一八	製造化學	四
分拆學		二	一化學實習		一八	試金實習	五
分拆實習		二	二有機體及究法		二	二化學攻究實習	二六
有機化學		四	四製造化學		六	六特別講義	三四
冶金學			三鑛物識別		二	二卒業論文	
製造化學			二吹管分拆		三		
無機化學			二冶金學		四		
礦物學			二試金術講義		一		
			物理學特別講義		二		
計三九計三九			計三九計三九			計三九計三九	

學科	第一學年		第二學年		第三學年		
	授業時間	秋季學期	授業時間	秋季學期	授業時間	秋季學期	
分拆學		二	一化學理論		二	一製造化學	四
分拆實習		二四	一九分拆實習		一八	製造化學實驗	二二
有機化學		四	四工業分拆實習		一六	工場整理	三一
水力學脚筒及水力發動機		二	二製造化學		六	工場設計	六
製圖		三	三工場設計製圖		六	製造器械學	二
蒸氣機關		二	二鑛物識別		二	二試金實習	五
機械學		一	一吹管分拆		三	三特別講義	
冶金學			三冶金學		四	四卒業論文	
工藝經濟		一	一家屋構造		一		
製造化學			二火藥取扱法		一		
鑛物學		一	二試金術講義		一		
計三九計三九			計三九計三九			計三九計三九	

第五 土木工程學科課程

第七 電氣工學科課程

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	每週授業時間	秋季學期	每週授業時間	秋季學期	每週授業時間	秋季學期
圖式力學(構圖)	二	一	二	一	二	一
構造強弱學及	三	三	一	一		
數	三	三				
水力學(筒筒及		二	熱學熱氣瓦斯	一		
水力發動機			及石油機關	一		
機械設計法	一	一	意匠製圖及實驗	二、八、五	二、七、五	
意匠製圖及實驗	二、三	二、一				
計三九計三九			計三九計三九			計三九計三九
發電機及電動機						
設計及卒業論文						三

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	每週授業時間	秋季學期	每週授業時間	秋季學期	每週授業時間	秋季學期
材料強弱學及	三	三	二	二	二	一〇
蒸氣機關	二	二	一	一	一	一〇
機械學	一	一	三	三	三	
水力學(筒筒及			水力機	一	一	
水力發動機			電氣測定法及	二		
工藝經濟學	一	一				
電氣及磁氣講義	二	二	意匠及製圖	一、二	一、二	
同上測定法	一	一	電氣及磁氣實驗	一、五	一、七	
化學實驗	六	六				
電氣及磁氣實驗	一、一	一、九				
電信	一	一				
製圖	六	六				
機械設計法	一	一				
計三九計三九			計三九計三九			計三九計三九
計						計二

第八 採鑛冶金學科課程

學科	第一學年		第二學年		第三學年	
	秋季學期	春季學期	秋季學期	春季學期	秋季學期	春季學期
鑛物學	一	二	四	四	全部	全部
地質學	二	一	二	二	二	二
探鑛學	四	四	二	二	二	二
冶金學		三			六十日 六	
測量學	三		一	一		
鑛山測量		二	八	八	卒業論文	
製圖	五	五	一	一		
蒸氣機關	二	二	三	三		
機械學	一	一	一三	一三		
化學分拆實習						

水力學、噴筒及水力發動機	二							
分拆實習	二	一	道	一	一			
鑛物識別	一	一	鑛床學	三	三			
家屋構造	一	一						
機械設計法	一	一						
計三八計三八								
計三九計三九								
計								
計								

●第二高等學校

上京區吉田町

彼の折田彦市氏校長たり

修業年限 各部各三ヶ年

學年 は九月十一日より翌年九月十日に至る

授業料 一學年貳拾五圓とし三回に分納す

各部學科課程左の如し

大學豫科第一部學科課程

學科	學年	第一年	第二年	第三年
倫理				一
國語及漢文		六	五	四
英語		九	九	八
獨語		九	九	八
歷史		三	三	三
論理及心理			二	
法學通論				二
經濟通論				(二)
體操		三	三	三
計		三〇	三一	三二 三九

備考

表中ハ文科大學志望者ニノミ課スル時數ヲ表ス

文科大學哲學科志望者ニハ第三年ニ於テ國語ヲ缺ク且之ニ課スヘキ數學物理ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年	第一年	第二年	第三年
數學			二	
物理				二

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ獨逸法ヲ選修スル法律學科並ニ文科大學ノ獨逸文學科ヲ志望スル者
 戸對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

學科	學年	第一年	第二年	第三年
英語		四	四	四
獨語		一四	一四	一二

隨意科トシテ法科大學志望者ニ課スヘキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年	第一年	第二年	第三年
羅旬語				二

大學豫科第二部學科課程

學科	學年	第一年	第二年	第三年
羅旬語				二

倫理	國語	英語	獨語	數學	物理	化學	地質及礦物	圖畫	體操	計
一	四	四	四	六	三	三	二	二	三	三〇
		七	七	四	三	三	四	四	三	三一
						講義 二 三				三一
	三	八	八	五						三一

第三年ニ於テ理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、獸醫學科志望者ニハ數學ヲ缺キ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科及理科大學ノ星學科、志望者ニハ化

學ノ實驗ヲ缺キ理科大學ノ各學科理工科大學ノ數學科、物理學科、純正化學科及農科大學志望者ニハ圖畫ヲ缺キ農科大學林學科志望者ニハ英語ヲ缺ク
理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學志望者ニ課スヘキ動物及植物ノ授業時數左ノ如シ

動物及植物	學科	第一年	第二年	第三年
四				

工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、電氣工學科、採礦及冶金學科工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニ課スヘキ測量ノ授業時數左ノ如シ

測量	學科	第一年	第二年	第三年
三				

隨意科トシテ理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニ課スヘキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ

學科	第一年	第二年	第三年

羅	旬	語	二
---	---	---	---

大學豫科第三部學科課程

學科	年		
	第一	第二	第三
倫理			一
國語	三		
獨語	一三	一三	一〇
英語	三	三	三
羅旬語			二
數學	三	二	
物理學		三	六
化學		三	六
動物及植物	四	三	
實驗		三	
體操	三	三	三

計	二九	三〇	三一
---	----	----	----

但佛法科佛文科等總テ佛語ヲ用フル學科ヲ置カス

●京都高等工業學校 上京區吉田町

工學博士中澤若太氏校長たり氏は現今學生の墮落に鑑み公德を喚起するを以て特得の校風たらしめん事を誓へり本校は明治三十五年を以て創設す學科を分ちて染織、窯業、應用化學、機械、工業圖案、電氣の六科とし更に電氣科を電氣機械、電氣化學の二分科となし染織科を分ちて色染、機械の二分科となせり

入學期 每學年の始にあり

入學資格 中學校卒業生にして左の資格を具へ入學試験に合格したるものとす

一年齡滿十七年以上滿二十五年以下

一身體強健なる者

一將來工業に従事せんとする志望の鞏固なる者

入學試験 左の學科に就き本校若くは所在中學校に於て行ふ

- 一英 語
- 一數 學
- 一物理及化學
- 一圖 書

此入學試験に合格するもの募集人員に滿たざるときは一般入學志望者に就き試験を行ひ合格者を以て之を補ふ其試験は左の如く本校に於て之を行ふ

一國語 一英語 一算術 一代數 一幾何
一三角法 一博物 一物理 一化學 一圖書
用器畫

修業年限 三ヶ年毎學年は九月十一日に始り七月十日に終る

授業料 は一學年金拾五圓にして毎學期の初め金五圓宛を納付せしむ

特待生 生徒中學力優等品行善良にして他生徒の模範たるべきものは一學年間特待生となし授業料を免除す

制服 は生徒の自辨とす

今年の募集人員は百六十人にして先づ中學卒業生の志望者より採り、其不足を一般志望者より採る入學試験を受けんとする者は

試験料 として金貳圓を要し又た無試験入學者は
手数料 として金壹圓を徴收す

●京都府醫學校

上京區荒神口上ル

醫術の専門學科ヲ教授す卒業生は試験を要せず醫術開業の特典と海軍々醫たるの資格を有す

修業年限 は四ヶ年

學年 は四月十五日に始まる

入學資格 年齢十七歳以上にして中學卒業又は之れと同等の學力ある者にして所定の入學試験に合格

したるものとす

入學試験科目 は体格 學業 物理學 化學 動物學 植物學 和漢文 獨逸語若くは英語 算術
代數 幾何學 三角術

學費 は左の如し

入學受驗料 金 參 圓 (中學卒業生は要せず)

授業料 左の區別に従ひ四月、十月の二期に徴收す

管内在籍者又は全戸寄留者 (一ヶ年金貳拾貳圓)

管外在籍者又は寄留者 (同 金貳拾五圓)

學科課程 左の如し

		第一 年 級			
獨逸語學	每一週六時間	化學	每一週六時間	醫學	每一週六時間
醫用動物學	每前週二期	解剖學	每一週九時間	醫學	每一週九時間
醫用植物學	每後週二期	解剖學	每一週九時間	實習	每一週九時間
物理學	每一週六時間	解剖學	每一週九時間	後期	每一週九時間
物 理 學	每一週六時間	體 操	每一週四時間	操	每一週四時間
第二 年 級					

獨逸語學隨	化學實習	解剖學實習	組織學實習	組織學實習	生理學實習	生理學實習	獨逸語學隨	電機療法	局所解剖學	內科各論	細菌學實習
每週二時期	每週二時期	每週六時期	每週六時期	前期每週十二時 後期每週三時	後期每週三時	前期每週十二時	每週一時期	每週六時期	每週四時期	每週四時期	前期
病理總論及治療總論	藥物學及處方學	調劑實習	外科通論	外科	體操	體操	診斷學	診斷學實習	內科入院患者臨床講義	外科各論	檢眼鏡用法實習
每週三時期	每週六時期	每週六時期	每週六時期	每週六時期	每週四時期	每週四時期	每週三時期	每週三時期	一年	一年	一年

皮膚病及梅毒病論	外科入院患者臨床講義	眼科	眼科入院患者臨床講義	獨逸語學隨	小兒科學	內科各論	顯微鏡的及化學的診斷學實習	內科外來患者臨床講義	同入院患者臨床講義	外科各論	眼科入院患者臨床講義
每週二時期	一年	每週四時期	一年	每週二時期	每週四時期	每週四時期	前期	一年	一年	每週三時期	一年
婦人科	婦人科入院患者臨床講義	神經病學	體操	外科外來患者臨床講義	外科入院患者臨床講義	耳科外來患者臨床講義	耳科入院患者臨床講義	皮膚科入院患者臨床講義	皮膚科外來患者臨床講義	手術演習	精神病学
每週三時期	一年	每週二時期	每週一時期	一年	一年	一年	一年	一年	一年	每週三時期	每週三時期

眼科外來患者臨床講義	一年	間	精神病入院患者臨床講義	後	期
產科	一年	間	黴菌學及實習	後	期
產科外來患者臨床講義	一年	間	衛生學	後	期
同入院患者臨床講義	一年	間	法醫學	後	期
神經病學	前	一時期	產科模型演習	後	一時期
神經病科外來及入院患者臨床講義	一年	間	操	後	一年一時期

● 京都府立第一中學校

上京區吉田町

實業に就かんと欲し又は高等の學校に入らんとするものに須要なる教育を爲す所たり

修業年限 五ヶ年とし一ヶ年を一學年に配す

學年 四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

授業料 管内及び管内全戸寄留のもの一ヶ月金壹圓五拾錢管外のもの金壹圓八拾錢とす

教科課程 は當時訂案中にあるを以て且つ参考の爲め從來の者を以てす左の如し

京都府尋常中學校教科課程表

學科	年級	授業時數	科目	授業時數
倫理	一年級	一	講義	一
	二年級	一	同上	一
國語	一年級	七	講義、作文、讀文	七
	二年級	七	同上	七
漢文	一年級	七	講義、讀文	七
	二年級	七	同上	七
外國語	一年級	六	音讀、譯解、習字	六
	二年級	七	同上	七
歴史	一年級	三	本邦歴史	三
	二年級	三	同上	三
地理	一年級	三	本邦地理	三
	二年級	三	同上	三
數學	一年級	四	算術、幾何	四
	二年級	四	同上	四
博物	一年級	一	動物學	一
	二年級	一	同上	一
物理及化學	一年級	一	物理學	一
	二年級	一	同上	一
習字	一年級	二	楷行書	二
	二年級	一	同上	一
圖畫	一年級	二	毛筆畫	二
	二年級	二	同上	二
學科	三年級	一	同	一
	四年級	一	同	一
學科	五年級	一	同	一
	同上	同上	同上	同上

圖	體	實業科					計	學科 目 年	修 身 級	讀 書
		其圖 實案 習及	繪 案 畫	本 邦	建 築 意 沿	工 藝 史 術				
畫	操					一	三三	第一 年	四	
幾何 法畫	柔軟 體操		寫 生	臨 摹		一	三三	第一 年	漢國 文文	
配景 法	同上	各種 圖案	寫 生。作 圖。	臨 摹。摸 寫。	同上	一	三三	第二 年	同上	
同上	同上	同上	同上	同上	同上	二	三三	第三 年	同上	
同上	同上	同上	同上	同上	同上	二	三三	第四 年	同上	

三十一

博	化	物	歷	數	作	讀	修 身 級	學科 目 年	圖	計	實 習	本 邦 繪 畫
一				三	四		第一 年	三三	案	三三	一 八	臨 摹
植		音 力	本 邦 歷 史	幾 何 初 步	往 後 文	漢 國 文	第一 年	三三	科	三三	寫 生	寫 生
一	一	電 氣 磁 學	同 上	幾 何 初 步	記 事 文	同上	第二 年	三三		三三	寫 生。作 圖。	臨 摹。摸 寫。
動	無 機 化 學	光 學	同上	同上	同上	同上	第三 年	三三		三三	同上	同上
一	一	應 用 化 學	同上	同上	同上	同上	第四 年	三三		三三	同上	同上

三十

體操	圖畫	化學	物理	數學	作文	讀書	修身	學科 年級	計	其 實 習	彫 刻 及	繪 畫
二	一		一	三	四		一	時 數	三	一	二	四
柔軟 體操	配景 法	幾何 法	音力 熱學	幾何 初步	算術 初步	往復 文	記事 文	漢文	國文	要旨	人倫 道德	寫真 生寫
二	一	一	一	三	三		一	時 數	三	一	三	四
同 上	配景 法	無機 化學	電氣 磁學	光學 初步	代數 初步	記事 文	同上	第二 年		同 上	同 上	同 上
二		一			三		一	時 數	三	二	〇	二
同 上		無機 化學			同上	同上	同上	第三 年		同 上	同 上	同 上
二		一					一	時 數	三	二	三	二
同 上		應用 化學				同上	同上	第四 年		同 上	同 上	同 上

實業科	體操	圖畫	博物	化學	物理	歷史	數學	作文	應力學用						
									力學	製具	解法	大解	美工	建築	革建
	二	一	一				三	往復 文	應力 學	製具 法	解法	大解	美工	建築	革建
	二	一	一	一	一	一	三	記事 文	配景 法	動物 物	無機 化學	光學 初步	電氣 磁學	同上	同上
	二		一	一				同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	二		一	一				同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
	二		一	一				同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

計	習及調描	實業科	工美製	漆
	其漆金	繪	藝史術	造器
三三三	一五	四		二
		寫摸		
		生寫		
三三三	一五	四		二
		同		
		上		
三三三	二二	二	二	
		同		
		上		
三三三	二二	二	一	
		同		
		上		

●京都染織學校

上京區府廳前

主として染色又は機織に關する必須の學理を授け之を實地に應用練習せしめ以て適長なる工業者を發
生する處にして本科及豫科を置き本科を分ちて染織、機織の二部とし本科の修業年限は三年にして豫
科の修業年限は二ヶ年なり而して其本科を卒業するの後は其志望により二ヶ年以内専攻科生として其
學業を研究するの便あり又た染色及機織者若しくは其子弟の爲め滿一ヶ年餘にして其業務に必要な
課目の速成を期する別科生の設けあり此等は卒業後復習生として時々登校を許すことあるべしとなり
入學は年齡滿十四年以上にして高等小學校を卒業せし男子又は豫科卒業の程度により英語の試験に合
格する者を本科第一學年に入學せしめ而して其豫科入學を許すものは年齡滿十二年以上高等小學校第

二學年の課程を修了せるものとなし其別科入學者は年齡滿十五年以上の男子一ヶ年以上實業に従事せ
る者又は尋常小學校を卒業せる者とし其他總て程度の試験に應し合格する者となす
本校課程 左の如し

本科課程表

學年	科目	第一學年		第二學年		第三學年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
	修身	一人倫道德	同上	同上	同上	同上	同上
	讀書	講讀	同上	同上	同上	同上	同上
	數學	算術演習	算術演習	代數	同上	同上	同上
	作文	往復文	同上	記事文	同上	同上	同上
	物理						
	化學	無機化學	無機化學	無機化學	有機化學	應用化學	應用化學
	分拆			定性分拆	工業分拆		
	圖畫	自在畫(四)	自在畫(四)	自在畫	同上		

第九條 別科ノ學科課程ハ左ノ如シ

修	讀	算	作	習	地	歷	圖	理	英	體	合
身	書	術	文	字	理	史	畫	科	語	操	計
二	四	五	二	二	二	二	三	二	二	三	三
人倫道德ノ要旨	漢字交リ文	四則、分數、諸等	日用事用文	日用文字	日本地理	日本歷史	自用器畫(一)(二)	博物初歩	綴字、習字、書取、誦讀、 譯解	普通體操	柔術體操
二	四	五	二	二	二	二	三	二	二	三	三
同	同	諸比例、百分算	同	同	外國地理	同	同	理化學初歩	同	同	同
上	上		上	上		上	上		上	上	上

豫科課程表

備考 (染)ハ染色(織)ハ機織專修ノ者ヘ特ニ課スル學科及授業時數ヲ示ス

科	學年		時間	備考
	第一學年	第二學年		
機械製圖				
色染法 附配色法	一(染)	二(染)	三(染)	
機織法 附意匠法	一(織)	二(織)	三(織)	
英語	三音讀、譯解、 書取、習字	三同	三同	
簿記				
經濟				
實習	三	二(織)	二(染)	
體操	三兵式	二同	二同	
合每週時間計	三	三	三	

別科學科課程表

科	目	毎週時間
讀	書	二 漢字交リ文
算	術	二 四則、分數、諸等
理	科	二 理化學大意
色	染	二 (染)
機	織	二 (織)
實	習	二六
合	計	三六

●市立商業學校

下京區堀川錦小路上ル

商業に従事せんと欲する者に須要なる教育を施す所とす
 修業年限 本科を四ヶ年とし豫科を二ヶ年とす其本科に於ては商業に關する學科を専修せしめ豫科に於ては本科に進まんが爲めの者に必要なる普通學科を授くるにあり
 學科課程 左の如し

本科學科課程表

科目	毎週時間	年級
修身	一	第一、二、三、四年級
讀書	四	第一、二、三、四年級
作文	二	第一、二、三、四年級
習字	二	第一、二、三、四年級
數學	五	第一、二、三、四年級
簿記	四	第一、二、三、四年級
地理	二	第一、二、三、四年級
歷史	二	第一、二、三、四年級
商業要項及商業實踐	三	第一、二、三、四年級
法律	二	第一、二、三、四年級

入學資格 豫科一年級に入學を許すべきものは身體健全操行端正志望確固年齡滿十二年以上にして市立簡易商業學校正科第二年又は高等小學校二箇年の學科課程修了のもの若くは入學試験に合格せる者たるべし而して本科第一年級に入學を許可すべきものは本校豫科卒業のもの若くは之れと同等の學力を有するものたるべし然れども修業年限四ヶ年の高等小學校卒業のものは英語の學力を査定し本科一年級に入學を許すことあるべし

學費 は左の如し

授業料

一本 科 (一ヶ月) 金壹圓貳拾錢

一豫 科 (同) 金八拾錢

本校は別に簡易商業科の設けあるを之を容す

●京都府高等女學校

上京區寺町荒神口下ル

彼の河原一郎氏校長として優良の婦女を敎養する帝國無二の女學校たり

學年 は四月一日に始まる

入學の期 は學年の始めとす

修業年限 は本科五ヶ年とす補習科等の設けあるを之を畧し之に掲げせ

入學資格 修業年限四ヶ年の尋常小學校卒業者又は同等以上の學力あるものに限る

學費 授業料は左の如し

第一年級より第二年級迄管内七圓五拾錢管外九圓

第三年級より第六年級迄管内拾貳圓管外拾五圓

寄宿舎 の設けありて嚴正に生徒を監督す

本科課程表 は左の如し

學科	學年	科目	時間	備考
理學	第一	二 自然現象	四 整数分數ノ加減乘除	二 人倫道德ノ要法
	第二	二 同上	四 ノ加減乘除	二 同上
	第三	三 植物動物	三 比例	二 同上
	第四	三 物理	三 百分算	二 同上
	第五	三 生理衛生	二 開平開立	二 同上
	第六	三 生理衛生	二 幾何初歩	二 同上
國語	第一	六 講義	三 讀解	六 文讀
	第二	六 同上	三 同上	六 同上
	第三	五 同上	三 讀方、譯解、會話	五 同上
	第四	三 同上	四 讀方、譯解、會話	三 作文講義
	第五	三 同上	四 讀方、譯解、會話、文法	三 同上
	第六	三 同上	四 同上	三 同上
歴史	第一	三 讀解	三 讀方、譯解、會話	三 同上
	第二	三 同上	三 同上	三 同上
	第三	二 本邦歴史	二 同上	二 同上
	第四	二 同上	二 同上	二 同上
	第五	二 本邦歴史	二 外國歴史	二 同上
	第六	二 外國歴史	二 外國歴史	二 同上
地理	第一	一 地理初歩	二 本邦地理	二 同上
	第二	一 同上	二 同上	二 同上
	第三	一 本邦地理	二 同上	二 同上
	第四	二 本邦地理	二 同上	二 同上
	第五	一 外國地理	二 同上	二 同上
	第六	一 同上	二 同上	二 同上

學 科 學 年	學 科 學 年	事 物	音 曲	術 絃 按			學 科 學 年	
				談講治鍼腹按摩按	三	前 手 年 期 術		
學 科 學 年	學 科 學 年	六 略修身及作法ノ 同人情風俗職業ノ畧 同	一 音曲論大意 同	二 三絃平物	三 平表物	六 解生劑理大大意	第一 年 同	
				三 絃平物	同	同	前 手 年 期 術	第二 年 同
				同	同	同	後 手 年 期 術	第三 年 同
				同	同	同	同	第四 年 同
				同	同	同	同	第五 年 同

啞生尋常科課程表

通 計	體 操	唱 歌	算 術	作 文	讀 方			
					假 數 假 名ノ 單 字	假 名ノ 單 字		
通 計	美遊 容 術 同	唱 歌 同	六 計 手。心。珠。 減加算	四 單 語 書 取	六 習 石 筆 鉛 筆 書 練	假 名ノ 單 字		
			同	同	同	同		
			同	同	同	同	普 通 文	
			同	同	同	同	口 上 書 類	普 通 文
			同	同	同	同	書 牘 文	同

盲生專修科課程表

- 同志社高等學部文科學校 上京區相國寺門前町
- 同 政法學校 同
- 同 波理須理科學校 同
- 同志社神學校 同
- 同志社女學校 同常盤井殿町
- 同志社看護婦學校 同烏丸通龍前町

外に同社内に圖書館の設けあり
 同社の教育は智徳併行の主義に基き教育界の通患たる智育偏重の弊を避け精神的教育の特色を發揮し
 國家有用の青年を養成するを以て目的とし特に教育の一法として毎朝公會堂に生徒を集め徳育談を聽
 かしひ今同社各學校規則を採萃せん

普通科

修業年限 五ヶ年第一學年に入學の資格は高等小學校第二學年以上修業の者若くは同等の學力あるも
 の第二學年以上は入學試験を要す
 學期 普通學校第一學年は四月に其他は毎年九月十日頃始業
 學費 左の如し

- 入學料 金貳圓
- 受驗料 金五拾錢

- 授業料 金五圓(一期間分)
- 校費 金五拾錢(同上)
- 金費 金五拾錢(同上) 寄宿生に限る
- 運動費 金參拾錢(同上)

尙は同社高等學部文科學校學則の概要左の如し
 學年 を三ヶ年に分つ
 入學ノ資格 第一學年に入學を許可するものは同社普通學部卒業生若くは同等の學力ありと認定した
 るものに限る

學費 同社普通學校に同し
 外に同社政法學校、波理須理科學校學則は目下學制變更の上一層専門の學術を研修せしむるの目的に
 て其計畫中に屬するを以て之を省き同社神學校、女學校及び看護婦學校は項を別ち後に出せり
 學課程 普通學校は倫理、國語漢學、英語、歴史、地理天文、地質、數學、博物、物理化學、經濟學
 大意、哲學、圖畫、体操とし高等學部文科學校は修身、國語漢文、英語及英文學、獨逸語、倫理學、
 教育學、法學通論、經濟學、歴史、體操とす

●同志社神學校 上京區新北小路町
 入學資格 同志社普通學校若くは之れと同等以上の學校の卒業生とし其他は試験の上入學せしむ

修業年限 は三ヶ年とす
學年の始めは 毎年十月上旬とす
學費 は校費舎費運動費の外之れを要せず
課程 は本科別科の二種に分れ一般神學上に必要なる學科を授くるものとす

●同志社女學校

今出川通り

高等普通學部と専門學部とに區分し
修業年限 は高等普通學部は五ヶ年専門學部は二ヶ年とす
入學資格 高等小學校卒業生は高等普通學部第一年に編入す専門學部は本校高等普通學部卒業生は無
試験にて第一年に收容す又選科生は其選みたる學科目に就き入學試験を行ふ
學年 は毎年九月に始む
學費 は左の如し

- 東 修 金 壹 圓
- 授業料 金 參 圓 (二期分)
- 校 費 金 五 拾 錢 (同上)
- 舍 費 金 貳 拾 錢 (一ヶ月分)
- オルガン授業料 金壹圓五拾錢 (二期分)

裁縫授業料 金壹圓貳拾錢 (同上)
琴授業料 金 參 拾 錢 (一ヶ月分)
生花授業料 金 拾 錢 (同上)
課程 高等普通學部學科は修身、國語、漢文、英語、地理、歴史、數學、理學、心理教育、家事法
制、裁縫、習字、圖畫、音樂、体操とし専門學部は其國語國文學科を倫理、國文、漢文、英文、補
助學、体操とし専門學部は其英語英文科を倫理、英文、國文、漢文、補助學、体操とす

●京都法政學校

上京區廣小路寺町東入

法律政治及經濟の學を教授する所たり本校は所定の全科目を學修する者を本科生とし其一科目以上を
選修する者を選科生とす
修業年限 は滿三ヶ年とし選科生は別に之を定めせ
學年 は九月十一日より翌年七月十日に至る
入學資格 本科甲乙及撰科の三種に分ち甲種生は年齢滿十六年以上の男子にして中學校、師範學校若
くは之と同等以上の學校卒業證書を有する者若くは之れと同等以上の學力を有すと認められたる者
本科乙種及撰科生は年齢滿十六才以上の男子にして入學試験(國語、漢文、歴史、數學)四則分數
比例に合格したる者又た試験委員の銓考に依り講義を解し得べき者と認められたる者となせり
學費 は入學料を金壹圓となし本科生は金壹圓八拾錢撰科生は一科目毎に金七拾錢三科目以上は

科目の數に拘らず金壹圓八拾錢の授業料を要す
別に校外生徒の規定あり之を略す
課程左の如し

簿記	實地演習 擬國會 擬律擬判	佛 英 獨 語	科外講義	第一學年	法學通論	二	每週	第二學年	民事訴訟法	三	每週	第三學年	民事訴訟法	三	每週	
				憲法	二	行政法	二	國際公法	二	民法	四	國際私法	二	破產法	二	四
				刑法(總則)	二	刑法(各論)	二	民法	四	民法	四	國際私法	二	破產法	二	四
簿記	實地演習 擬國會 擬律擬判	佛 英 獨 語	科外講義	第一學年	經濟學	三	每週	第二學年	經濟學	三	每週	第三學年	國際私法	一	一	
				商法	二	商法	二	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	一
				民法	三	民法	三	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	一
簿記	實地演習 擬國會 擬律擬判	佛 英 獨 語	科外講義	第一學年	憲法	二	每週	第二學年	憲法	二	每週	第三學年	社會學	二	二	
				刑法(總則)	二	行政法	二	社會學	二	社會學	二	社會學	二	社會學	二	二
				民法	三	行政法	二	社會學	二	社會學	二	社會學	二	社會學	二	二

簿記	實地演習 擬國會 擬律擬判	佛 英 獨 語	科外講義	第一學年	法學通論	二	每週	第二學年	國籍法	一	每週	第三學年	外交史	二	每週	
				憲法	二	行政法	二	國籍法	一	外交史	二	外交史	二	外交史	二	每週
				刑法(總則)	二	行政法	二	國籍法	一	外交史	二	外交史	二	外交史	二	每週
簿記	實地演習 擬國會 擬律擬判	佛 英 獨 語	科外講義	第一學年	經濟學	三	每週	第二學年	統計學	一	每週	第三學年	國際私法	一	一	
				商法	二	統計學	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	一
				民法	三	統計學	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	一
簿記	實地演習 擬國會 擬律擬判	佛 英 獨 語	科外講義	第一學年	論理學	一	每週	第二學年	財政學	二	每週	第三學年	國際私法	一	一	
				經濟學	三	財政學	二	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	一
				論理學	一	財政學	二	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	國際私法	一	一

●認可開成學校

上京區吉田町

多年教育界に盡瘁し殊に學事に關する功績顯著なりとて鑓に其筋より賞狀及賞品を得たる彼の城哲藏氏が私設に係り校運隆盛今や規模を擴張し學科を改善し雄を關西に競はんとし更に資一万五千餘圓を投し本年より向ふ三ヶ年を期し完全なる校舎を新築せんとし既に其一部竣工し本月より新校舎に移轉せり目下は中學部のみなるが更に數年の内に大學部をも併置せんとて目下頼りに其準備中なりと云ふ
 中學部の大要は左の如し

開成學校 中學部

目的 男子に必要な高等普通教育を爲す處とす

修業年限 五ヶ年とす

生徒定員 五百名とす

學年 は毎年四月に始まる

入學資格 第一學年に入學することを得るものは年齢十二歳以上にして高等小學第二學年の課程を終了したるもの又は之れと同等の學力ある者に限る

第二學年以上に入學を許可する者は前學年卒業の程度に於て試験の上か又は學力を認定し無試験編入す

學費 資 受験料 金壹圓(但し無試験入學許可の者は之を要せざ)

入學料 金 壹 圓

授業料 月 金壹圓貳拾錢

教場費 同 金 五 拾 錢

制限制帽 の規定あり

寄宿舎 の設あり食料は一ヶ月凡る四圓五拾錢と外に會費八拾錢を要す

生徒中 品行方正成績秀逸の者は授業料を減免す

學科課程表 は左の如し

學科課程表

學科	學級	時間		修 身	國 語	漢 文	外 國 語	歷 史	地 理
		授 課	自 習						
第一學年課程	上	一	二	一	二	三	七	二	二
第二學年課程	上	二	二	二	二	三	七	二	一
第三學年課程	上	二	二	二	二	三	七	一	二
第四學年課程	上	二	二	二	二	三	七	二	一
第五學年課程	上	二	二	二	二	三	八	三	一

計	三九	三〇	三〇	三〇	三〇
體操	三普通体操	三兵式体操	三同上	三同上	三同上
圖畫	二自在畫	二幾何畫	一投影畫法	一透視畫法	
習字	一楷書	一楷書	一草書		
物理及化學	一博物示教	一物理示教	二生理衛生綴物	四動物學	四動物學
算術	二算術ノ復習代	二算術ノ復習代	二平面幾何	二立體幾何	二三角法

●國民學校

下京區三條大橋東一丁目

北村佳逸氏の設立に成り國民に必要な學業を授け中等教育を社會に傳播するの機關たり

課程 本科選科及高等科の三に分つ

入學料 金壹圓

授業料 本科一ヶ月金壹圓 選科一ヶ月金五拾錢

學科課程 左の如し

學科	第一學年	第二學年	第三學年
----	------	------	------

倫理	論經語 孝經	小學、大學、中庸、孟子	倫理原論 世界倫理史
國語	保元物語(文典) 土佐日記(假名遣)	平治物語、徒然艸(文典) 方丈記、古今和歌集	伊勢物語、大鏡、十六夜日記、水鏡、秋雨物語(文典)
漢文	日本外史(源平氏、武田、上杉氏、豐臣氏) 十八史略、正文章軌範 日本外史論文	日本政記、續文章軌範、史記列傳、春秋左氏傳、唐宋八大家文	唐詩選、孟子、詩經、書經、莊子、老子、明清作家林、清語、
數學	新案算術 長澤氏小代數書	新案算術、長澤氏小代數書、菊池氏幾何書、平面之部	菊池氏幾何書(立體之部)
英語	スベルリン ナシヨナル第三、四 ロングマン第三、四 スリントン第三、四 スリントン第一、二、三、四 (會話文典)	ナシヨナル第三、四 ロングマン第三、四 スリントン第三、四 スリントン第一、二、三、四 スリントン第一、二、三、四 スリントン第一、二、三、四 (會話文典)	ナシヨナル第五、 ロングマン第五、スケッチブック スタンレー、ヘルソン、 ゴルドン、 プラチナル、イングリッ シュ、 シュ、 シュ、
作文	書簡文 漢文交リ文 (應答文、記事文)	國文 漢文 (記事、論說)	論議、評論、 美文、研究、 時文、
(地歴)	內國地理 外國地理	外國地理 外國歷史	
(習字)	楷書 行書	楷書、行書、 草書	
(理化)	大意		

(動)	(植)	大意	商用科、家計科	官用科	工業科
簿記	銀行科	銀行科	鐵道科	鐵道科	農業科(原理)
詞藻		和歌、詩			新體詩、銘、詩、俳文

其他簿記科受験豫備科の設けあり受験豫備科は商業學校入學志願者及び一年志願兵、各種學校入學試験文官普通試験を受けんとする者の希望に應じ簿記科は學科を別ちて左の如く區分す

銀行科	會社科	商用科	鐵道科	釀造科	鑛山科
官用科	計用科	工業科	農業科	高(原理)科	

速成科生ハ二十日間ヲ以テ一科ヲ卒業セシム

寄宿費 學科の種類に拘らず左の費用を徴收す

一金拾五圓

内譯

金拾貳圓六拾錢

金四圓四拾錢

食費 (九十日間) 金拾貳圓六拾錢

但し本人の都合により許諾を経て一ヶ月毎に分納するを許す中途退學者には食費を返附するも

月割を以て計算し三十日に満たざる剩餘は之を返附せず

●明進學館

上京區富小路二條南入

設立の主旨 普通學科を修めむとするもの各種の官立學校に入らむとするもの若くは晝間餘暇なき實業家の子弟に必要な學科を授くるにあり

學費 は左の如し

入學料

金五拾錢

一科月謝

金五拾錢

二科月謝

金七拾錢

三科月謝

金八拾錢

教授の程度 は左の如し

科學	第一學年	第二學年	第三學年
英語科	ウエブスター綴字書 ナシヨナルリーダー	ナシヨナルリーダー 三、四 スウイントンリーダー 三	フエブルスアチクドワツス、 ラームスセークスピア、 ガリバーストラベル、 英國七大家文集、 文典、會話、譯文、
	文部省會話讀本 一、二、 習字、文法大意、會話	文部省會話讀本 二、 小文典、會話、譯文、	

科學漢	日近國	本古史	外史	史談略	文史十	章記八	軌列史	範傳略	唐宗八大家文、 論語、孟子、 中庸、大學、
科學數	數の性質より 小數の終りまで	比例より級數まで 幾何代數初步	幾何、 代數	三	角、 術	代	數		

●明進學館音樂部

上京區富小路二條下ル

修業年限 三ヶ年とし簡易科一年普通科二年とす

授業時間 毎週三回にして一回二時間以上

學年の始め は四月一日

學費 は左の如し

入學料 五拾錢

オルガン、ツツ、非、オ、リ、ン 每一科 月謝金 七拾錢

右二科 月謝金 壹圓

音樂部學科課程 は左の如し

○ 簡易科	普通科
-------	-----

●省思館

上京區姊小路新町西入

一豫備科 學科程度

高等小學程度

一讀書

假名交リ文讀本 一習字 楷、草、行

一本算術 學科程度

算術

(珠算)加減ヨリ四則雜題迄

學科	第一學級	何人ニテモ隨時入	第二學級
簿記學	商用科、會社科、銀行科、官用科、其他		
數學	算術全體、小代數、幾何(平面部)		大代數、幾何、三角
英語	文部省會話讀本一ヨリ三迄 イーストナール會話教科書 ナシヨナル讀本一ヨリ四迄 スイントナル讀本一ヨリ三迄		スイントナル讀本四、五 ユニオン讀本四、五 スイントナル讀本四、五 其他 史類、文章類

●公 堂 塾

上京區川端通荒神口北

英漢數を教授す入學者に要する金額を左の如く定む

束脩金五拾錢、謝儀一科金參拾錢二科金五拾錢三科金六拾錢、舍生塾費金參拾錢、通學生塾費金拾五錢、食料金四圓五拾錢、入塾の節に要する披露料金五拾錢

下京區烏丸四條南入ル

●私立英語學校

正則英語學を教授するを以て目的となし男子年齢滿十二年以上のものにして尋常小學科卒業若くは同等以上の學力を有するものは入學し得べき事となせり

入學料 金 壹 圓
授業料 金 壹 圓

課程 左の如し

一 イーストローキ氏著 新編英語會話教科書

一 ナショナルリリーダー 一、二、三、四、五

一 スペンセリアン習字帖 一、二、三、四、五

其他實業夜學科、隨意科、高等科、及び特別科の設けり猶女子部設立出願中に屬す

●京都簿記専門學校

上京區東洞院竹屋町下ル

吉雄琢之助氏の設立に屬し簿記學を教授するを以て目的とし商用、官用、銀行、會社、等各種の簿記を學びによりて教授し卒業は各科とも二ヶ月とす

學費 左の如し

束脩金壹圓 月謝金六拾錢 校費一ヶ月金貳拾錢 各科試驗手数料金貳拾錢

全科試驗手数料金五拾錢 再三試驗手数料金貳拾錢

●大阪簿記學校京都分校

上京區新島丸通丸太町南へ入ル下御靈裏門前

目的 簿記學并に簿記學に關する一切の學科を授く

教授時 自午前八時至正午、自午後一時至同二時半、自點燈至午後九時

學費 左の如し

入校金 壹 圓

授業料 月八拾錢 通學生 月壹圓 寄宿生校費 月金貳拾錢

入學 是誰人にも隨時之を許す

外に特別監督生自宅獨習會等の規定あるも之を略す

學科及修學期は左の如し

商 科 目 學 期 諸般ノ商業
用 科 二 ヶ 月

會社	銀行	官用	工業	鐵道	家計	醸造	農業	鑛山	貿易	簡易
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科
二	二	二	二	二	一	二	一	三	三	一
ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	週
月	月	月	月	月	月	月	半	月	月	間
諸般ノ會社營業	本支店營業	諸官省全般	工業全般	官設私設共	家事計	醸造方及ビ商賣方	山林牧畜農事	鑛山方及商賣方	外國取引本支店共	商業帳簿

●京都商業學校豫備費

竹屋町東洞院西エ入ル

主旨 京都商業學校への入學志望生を養成するにあり
 學年 は毎年四月に始まる
 修業年限 は一ヶ年とす
 學費 は左の如し

入學料 金五拾錢
 授業料 一科目専修者 金五拾錢
 授業料 全科修學者 金八拾錢
 費 金拾錢
 寄宿舎 の設けあり
 學科課程 は左の如し

講	作	算	簿	地	歴	物理化學	英語
讀	文	術	記	理	史	學	語
十八	普通	珠算	總論	日本	内國	大意	綴字
外史ノ類	往復文	(四則) 算(四則) 雜題(四則) ヲリ比例迄)	普通	地理	歴史	筆記	會話
			復式				習字
			式記帳				

本校は將來學則の改正を爲し大に刷新すべき希望を有せるもの、如し

●師範學校豫備校

上京區今出川烏丸東入

京都府師範學校入學志願者の爲めに便に卒業生は無試験にて師範學校へ入學することを得べし

修業年限 一ヶ年とし毎年四月より翌年三月に至る

授業料 一ヶ年八圓とし四期に分ち各期の初めに納付すること、なせり

課程 左の如し

修身 國語 漢文 算術 地理 歴史 理科 習字 圖畫 體操 柔道 擊劍

本校内に裁縫専科正教員講習會、准教員講習會の設けあり

●翰墨林舎

上京區榎木町小川西南角

出張教授所 繩手通古門前下ル東側

同 姉小路通東洞院前

本朝書道速成練習法の初發者南海の老翁岡坂鉄山氏主幹として専ら執筆の任に當り眞、草、行、假名、の四体を六ヶ月を以て練習し得る一種の教授法を設く書道を學ばんと欲する子弟には最も好羅針盤たり今や高弟は大和、神戸、大津等に支舎を開き益々昌盛を期し居れるを以て翁は七十餘歳の高齡にも拘はら老日々斯道の爲に盡しつゝ、あり

束修 金 壹 圓

授業料 金 貳 圓 (但シ一ヶ月)

卒業期 六ヶ月

三歳以上の童兒は男女を問はず教授を受け得るものなり

●京都實業夜學會

下京區東洞院通三條下ル三文字町

西村治兵衛氏會長として専ら執筆の任に當り學士、外國人、其他専門講師十數名によりて晝間修業の餘暇なき商工業者子弟に外國語并に實業教育を授く其修業年限を二ヶ年とす正に市費の請願中にあり後來有望の夜學會たり會費を別つ左の如し

入會料 金 壹 圓

授業料 本科第一學年 金 五拾錢

同 第二學年 金 壹 圓

隨意科第一學年 金 五拾錢

同 第二學年 金 壹 圓

學科課程左の如し

入學料

豫備科

金五拾錢

普通科及裁縫科

各金壹圓

高等科

金壹圓五拾錢

寄宿會舍食料

一日金拾貳錢

金

費一ヶ月金五拾錢

學科課程は左の如し

豫備科課程表

科目	年級	第一學年		第二學年	
		時間	教授時間	時間	教授時間
修身	一	躬行實踐の道	同上	同上	同上
國語	七	講讀、習作	同上	同上	同上
英語	四	讀、會話	同上	同上	同上
算學	五	珠算、加減乘除、分數	同上	同上	同上

普通科課程表

科目	年級	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年	
		時間	教授時間	時間	教授時間	時間	教授時間	時間	教授時間
家事	一	衣食住に關する事項	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
裁縫	八	運針方、和服裁方	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
圖畫	一	毛筆、形體畫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
音樂	一	單音、唱歌	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
體育	一	遊戯、普通體操	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
計	三		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
國語及漢文	六	講讀、習作	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
英語	五	讀、會話、習字	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
算學	三	算術、百分比、算例	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
地理	二	日本地理	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

英 語	家 事	教 育	歷 史	心 理	論 理	計	家 政 部	
							科 目	年 度
講讀、作文	家事、衛生	教育論、家庭教育	萬國歷史				第一學年	第二學年
七	三	三	三	三	三	三	同上	同上
七	六	七	七	七	七	七	同上	同上
七	七	七	七	七	七	七	同上	同上
七	七	七	七	七	七	七	同上	同上
七	七	七	七	七	七	七	同上	同上
七	七	七	七	七	七	七	同上	同上
七	七	七	七	七	七	七	同上	同上

歷 史	理 科	家 事	裁 縫	圖 畫	音 樂	體 操	計	文 學 部	
								科 目	年 度
動物、植物	金石、植物	交際方	和服縫方	毛筆形體畫	單音唱歌	普通体操		第一學年	第二學年
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上
二	二	一	六	一	一	一	三〇	同上	同上

交際	際	三 社會倫理、男女交際、慈善事業等
教育	育	三 家庭教育
理科	理	三 普通の割烹
計	計	三六
師範部		
科目	年	第一學年
修身	身	一 人倫道德の要旨
國語	語	六 講讀、作文、和歌
英語	語	六 講讀、作文、修辭、英文學
裁縫	縫	六 和服の裁方縫方
音樂	樂	二 復音唱法練習
教育	育	三 教育論、學校管理法、授業法、學校衛生
數學	學	三 立體幾何復習
科目	年	第二學年
修身	身	一 同上
國語	語	六 同上
英語	語	六 同上
裁縫	縫	六 同上
音樂	樂	二 同上
教育	育	三 家庭教育
數學	學	三 同上
科目	年	第三學年
修身	身	一 同上
國語	語	四 同上
英語	語	四 同上
裁縫	縫	一 同上
音樂	樂	二 同上
教育	育	三 同上
數學	學	三 同上
科目	年	第四學年
修身	身	一 同上
國語	語	四 同上
英語	語	四 同上
裁縫	縫	一 同上
音樂	樂	二 同上
教育	育	三 同上
數學	學	三 同上

歷史	史	三 萬國歷史
心理	理	三 大
實習	習	三 意
計	計	三〇
裁縫科課程表		
科目	年	第一學年
修身	身	一 躬行實踐の道
國語	語	五 講讀、習字、書取、作文
家事	事	一 交際
數學	學	三 算術、百分比、算例
地理	理	二 日本地理
理科	科	二 生理、衛生
裁縫	縫	三 和服の裁方
科目	年	第二學年
修身	身	一 同上
國語	語	六 同上
家事	事	一 家事經濟式
數學	學	一 同上
地理	理	二 同上
理科	科	二 同上
裁縫	縫	三 同上
科目	年	第三學年
修身	身	一 同上
國語	語	四 同上
家事	事	一 家事簿記
數學	學	一 同上
地理	理	二 日本歷史
理科	科	二 同上
裁縫	縫	三 同上
科目	年	第四學年
修身	身	一 同上
國語	語	四 同上
家事	事	一 同上
數學	學	三 同上
地理	理	二 支那歷史
理科	科	二 同上
裁縫	縫	三 同上

計	100	100	100	100
---	-----	-----	-----	-----

●京都淑女學校

下京區不明門通中珠敷屋町東入

日本固有の徳義に據り貞淑の美德を涵養し兼て女子に適應する必須の學術技藝を教授す

修業年限 は本科四年高等科二年別科三年裁縫專修科三年とす

學年 は毎年四月に始まる

學費 は左の如し

- 入學料 金壹圓
- 本科一年級授業料 金壹圓
- 同二年級以上 金壹圓貳拾錢
- 別科授業料 金五拾錢
- 隨意科授業料 每一科 金拾錢
- 裁縫專修科 金壹圓
- 舍費 金參拾錢(但し在舍生に科す)
- 寄宿生食料 金四圓五拾錢(但し物價の高低により増減す)

學科課程は左の如し

本科學科課程表

學科目	時毎週	第一 年級	時毎週	第二 年級	時毎週	第三 年級	時毎週	第四 年級
修身	1	道德の要旨	1	同	1	同	1	同
國語	5	假名交り文 作文	5	假名交り文 國文、作文	5	假名交り文 國文、作文	5	假名交り文 國文、作文
地理	1	本邦地理	1	同	1	萬國地理	1	同
歴史	1	本邦歴史	1	同	1	萬國歴史	1	同
理科					2	理化學の概要	2	同
數學	3	珠算、加減 乘除、四則、 筆算	3	珠算、四則、 筆算、分數	3	小數、諸等、 比例	3	百分比 算例
習字	2	楷行書	2	行草書	1	草書	1	草書
圖畫	1	毛筆畫	1	同上	1	同上	1	同上
唱歌	1	單音唱歌	1	同上	1	複音唱歌	1	同上
裁縫	9	運針法、 縫針、單衣等、 編物	9	運針法、 縫針、綿針 入、法、 物	10	縫入、羽織、 編物、刺繡、 造花、押繪、 繪、	10	縫、造花、 刺繡、造花、 押繪、等

學科	科目	時毎週	裁縫專修科學科課程表		
			級	時毎週	科目
音樂	樂器使用法	3	第一學年級	22	第一學年級
	歌唱法	3	第二學年級	22	第二學年級
	樂典	3	第三學年級	22	第三學年級
裁縫	縫紉	22	第一學年級	22	第一學年級
	單衣、襪、褲、入、	22	第二學年級	22	第二學年級
	羽織、帶、小袖、引、袖、	22	第三學年級	22	第三學年級
國語	講義	3	第一學年級	3	第一學年級
	珠算、加減乘除、	3	第二學年級	3	第二學年級
	文讀	3	第三學年級	3	第三學年級
算學	算術	3	第一學年級	3	第一學年級
	珠算、加減乘除、	3	第二學年級	3	第二學年級
	珠算、加減乘除、	3	第三學年級	3	第三學年級
習字	行草書	1	第一學年級	1	第一學年級
	草書	1	第二學年級	1	第二學年級
	假名	1	第三學年級	1	第三學年級
圖畫	日本畫	1	第一學年級	1	第一學年級
	寫真	1	第二學年級	1	第二學年級
	水彩畫	1	第三學年級	1	第三學年級
家事	裁縫	1	第一學年級	1	第一學年級
	洗濯	1	第二學年級	1	第二學年級
	調理	1	第三學年級	1	第三學年級
唱歌	唱歌	1	第一學年級	1	第一學年級
	唱歌	1	第二學年級	1	第二學年級
	唱歌	1	第三學年級	1	第三學年級
計		32		32	

●文中女學校

下京區東中筋花屋町

申斐虎山氏主管の下にあり重きを徳性の涵養に置き智識の啓發に意を入ては仰事俯育の任に勝へ出
ては自己の品位を保持し得べき良妻賢母を養成せんとす
修業年限 は本科を三年とし高等科を二年とす
學年 四月一日より翌年三月三十一日に至る
課程 左の如し

科	學年	時毎週	本科課程表				
			第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	第一學年	2	人倫道德ノ要旨	同上	同上	同上	同上
國文	第一學年	6	講義 作文	同上	同上	同上	同上
家事	第一學年	3	讀方 譯解 習字	同上	同上	同上	同上
英語	第一學年	3	讀方 譯解 習字	同上	同上	同上	同上
歷史	第一學年	1	本邦 歷史	同上	同上	同上	同上
地理	第一學年	2	本邦 地理	同上	同上	同上	同上

能真海氏校長たり勅語の御旨趣に基き専ら貞淑の婦徳を涵養し兼て須要の技藝を教授し以て未來の良妻賢母を養成するにあり
 修業年限 滿三ヶ年
 學費 左の如し
 入學料 金 五拾錢
 本科授業料 金 八拾錢
 随意科授業料 金 五拾錢
 學科課程 左の如し

學科目	時間	年級	時間	年級	時間	年級
裁縫	4	一年級	4	二年級	4	三年級
20	4	同上	4	同上	4	同上
運針方 裁縫方 縫方 襦袢 木綿單衣 同綿入 同綿羽織 同單羽織 其他各種	4	同上	4	同上	4	同上
20	4	同上	4	同上	4	同上
木綿拾羽織 絹布單衣 同拾羽織 同綿入 同長襦袢 同帶 其他各種	4	同上	4	同上	4	同上
20	4	同上	4	同上	4	同上
振袖 被布 袴 押給 袋物 細工物 其他各種	4	同上	4	同上	4	同上
20	4	同上	4	同上	4	同上

別科學科課程表

習字	茶	插花	計
假名手ほどき	千家裏流	1	30
4	1	1	30
假名文章体	同上	同上	30
4	1	1	30
同上	同上	同上	30

●京華看護婦學校

上京區柳馬場御池西入

夫なき婦人に看病術を授くるを以て目的とし入學期を四月十月の二期に定め通常生徒貸與生徒篤志生徒の別あり

學費 東脩金五拾錢 月謝金叁拾錢

修業課程 左の如し

第一學期

看護の要旨、解剖學大意、生理學大意、綑帶學大意、病室裝置法、藥餌用法、度量衡、醫家用語ノ研究、小手術、灌腸法、鼻咽頭洗滌法、吸入法、水蛭及吹角、發泡、芥子泥、等ノ貼用法、捲法、洗拭及ヒ浴法、痔瘡扱法、体温脈搏及ヒ呼吸計法、按摩法、カテーテル使用法

參考書 普通衛生新書 醫學博士中瀨東一郎氏譯

第二學期 七ヶ月

實地看護 忠家或は病院に就きて看護法を實地練習せしむ

●看病婦學校

上京區烏丸通上長者町角

學年 每年四月を以て始め翌年三月を以て終る

年齢 滿十八才より三十五才迄とし就學期四家事に拘束せられざるものたることを要す
入學試験 先づ身體を檢し健康を認めたるは左の學術試験を要す

讀書(假名交り文) 筆記(假名交り文) 作文(普通往復文) 算術(加減乗除)

但高等小學以上のものは場合により試験を要せず

課程 第一學年に於て醫語、解剖學、生理學、物理學、化學、衛生學、藥物學、毒物學、按摩術、紮帶學、一般看護法、傳染病看護法、症候學 第二學年に於て産婆學、患者食物調理法實習、救急看護法、精神病看護法、小兒看護法、一般看護法、産婆學臨床實習及模型演習、英語とし學期試験臨時試験卒業試験をなす

學費 寄宿生の納むべき學費は食料及び雜費として一ヶ月凡る金參圓五拾錢を要す其他授業料は納むるに及ばざり、筆筒等は貸與し蒲團蚊帳は目辨たるべし夏期休業中病室實習に従事する者には食料を給す但し學期中の欠勤を補ふ爲めの實習生には之を給せず

●産婆學校

上京區烏丸上長者町

専ら産婆學を教授し傍ら一般看護法の大意を授け滿一ヶ年を以て卒業の期とす

學費 入學料金壹圓 月謝金五拾錢 其他食料及雜費金壹圓五拾錢位と小遣平均五十錢

課程 醫語、解剖學及生理學、按摩術、正規妊娠分娩及其取扱法並に妊婦診斷法實習、正規産婦の経過及褥婦生兒の看護法、異常の妊娠分娩及其取扱法、妊婦産婦褥婦生兒の疾病及消毒の方法、産室臨床實驗、模型演習、産婆心得、一般患者看護法を三期に分ち教授す

●看護婦養成所

下京區花屋町間ノ町

本派眞宗本願寺教學局の所管に屬し天災地殃等の事故に生したる疾病傷痍者の爲めに看護婦を養成し豫て報國扶宗の旨趣により設立したるものにして學年を二ヶ年とし生徒は本宗門末子女中より擧げ就學せしむること、なせり

學費は額を定めて之を給與し尙ほ必要の物品は是を貸與すること、なれり

●京都市立尋常高等小學校及幼稚園名并ニ所在地

- 第一 高等小學校 上京區中立賣通室町西
- 第二 高等小學校 下京區高辻通室町西
- 第三 高等小學校 同 六原前通門脇町
- 第四 高等小學校 上京區五辻通淨福寺西

格致高等小學校
 成德尋常小學校
 豐園尋常小學校
 開智尋常小學校
 永松尋常小學校
 瀨榮尋常小學校
 淳風尋常小學校
 醒泉尋常小學校
 修德尋常小學校
 有隣尋常小學校
 新道尋常小學校
 六原尋常小學校
 安井尋常小學校
 植柳尋常小學校
 尙德尋常小學校
 稚松尋常小學校
 菊濱尋常小學校
 貞教尋常小學校
 修道尋常小學校

下京區油小路通佛光寺南
 同 室町通綾小路南
 同 佛光寺通東洞院東
 同 御幸町通佛光寺南
 同 寺町通綾小路南
 同 四條通祇園町
 同 大宮通丹波口南
 同 醒々井通松原南
 同 小田原町通松原南
 同 富小路通五條北
 同 建仁寺町西裏團栗南
 同 松原通大和大路東
 同 廣道通松原北
 同 西洞院通御前通南
 同 鍵屋町通新町東
 同 高倉通萬年寺南
 同 二ノ宮町正面北
 同 鞆町通正面南
 同 馬町通伏見街道東二丁目

安摩尋常小學校
 皆山尋常小學校
 一橋尋常小學校
 梅巡尋常小學校
 小川尋常小學校
 待賢園
 嘉樂園
 竹間園
 京城巽園
 京極園
 柳池園
 翔鸞園
 乾隆園
 銅駝園
 生日彰園
 豐祥園
 開智園
 永松園

同 醒々井通木津屋橋南
 同 高倉通七條南
 同 伏見街道七條南五丁目
 同 梅小路通大宮東
 同 上京區小川通今出川南
 同 猪熊通下立賣南
 同 今出川通千本東
 同 間ノ町通竹屋町南
 同 油小路通押小路南
 同 寺町通石藥師南
 同 御池通柳馬場東
 同 元誓願寺通六軒町西
 同 寺ノ内千本東
 同 二條通寺町東
 同 下京區高倉通六角南
 同 富小路通六角南
 同 佛光寺通東洞院東
 同 御幸町通佛光寺南
 同 寺町通綾小路南

修 德 幼 稚 園
 東 東 幼 稚 園
 梅 誠 幼 稚 園
 楊 幼 稚 園
 立 幼 稚 園
 郁 文 幼 稚 園
 同 下京區小田原町通松原南
 同 建仁寺町通松原北
 同 楊梅通新町東
 同 河原町通三條南
 同 大宮通綾小路南

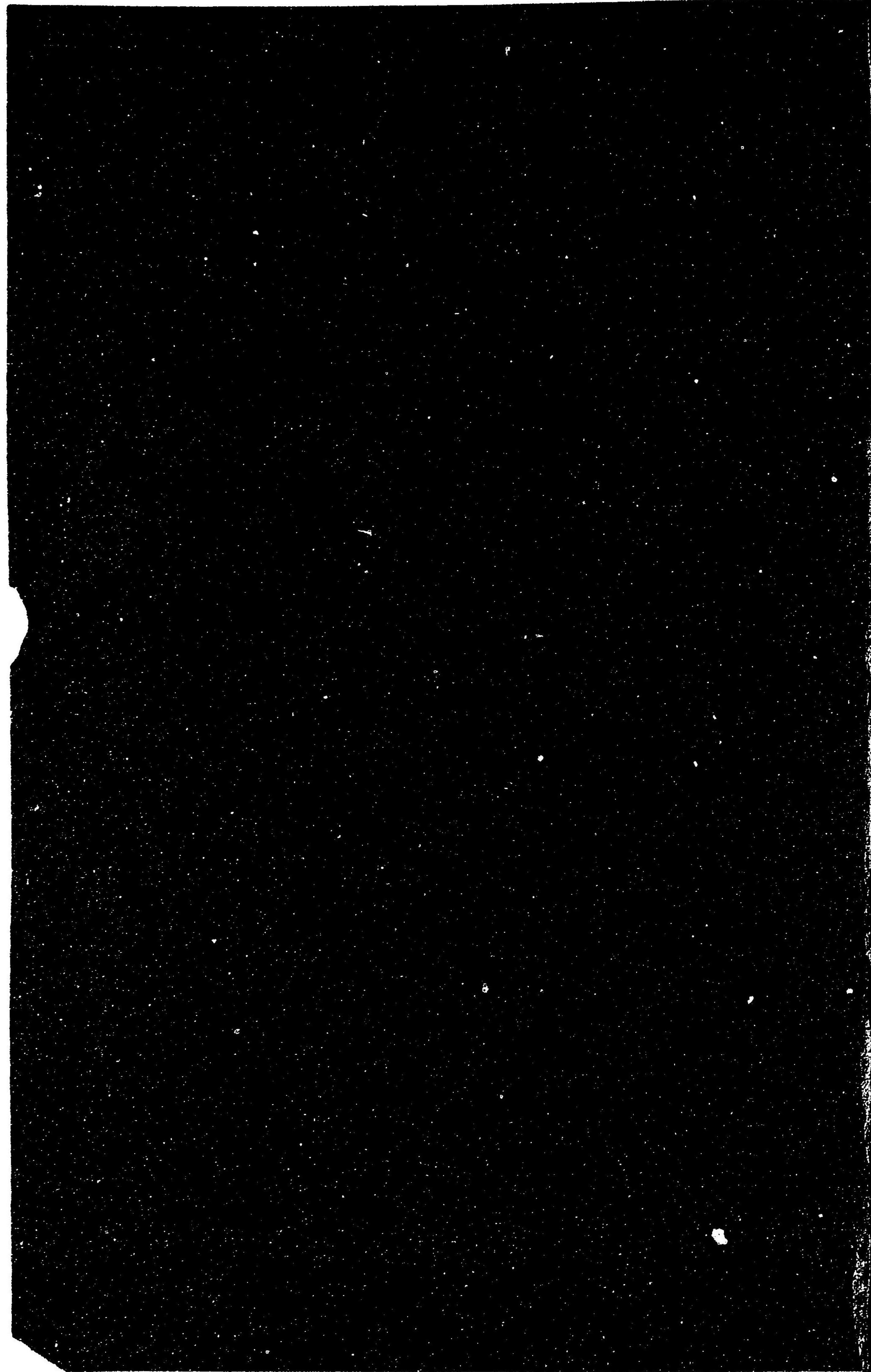
明治三十五年六月二十五日印刷
 同 年同月二十九日發行

 定價金拾五錢



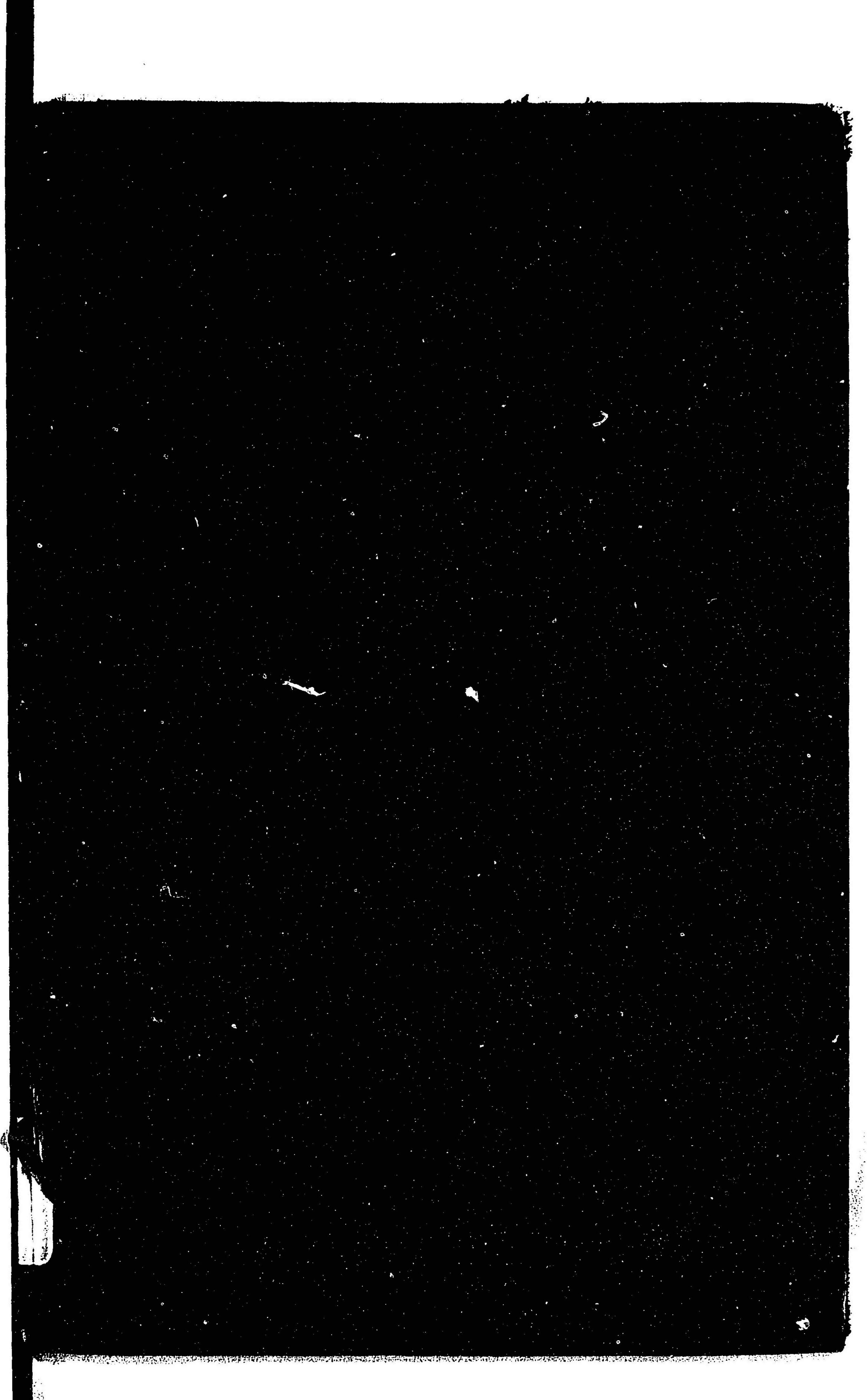
發行兼編輯者 佐久間 惠美
 京都市上京區三條通古川町上ル
 西へ入ル東門前町五十二番戸
 印刷者 中西 嘉助
 京都市上京區下立賣通小川東入
 西大路町十番戸
 發行所 中西印刷合名會社
 京都市上京區上立賣通小川東入
 西大路町十番戸

京都府廳別冊中西印刷合名會社印刷



THE
LIBRARY
OF THE
MUSEUM OF
COMPARATIVE ZOOLOGY
AND
ANATOMY
HARVARD UNIVERSITY
CAMBRIDGE, MASSACHUSETTS

259
72



259
72

Ⓜ

048667-000-3

259-72

京都遊学案内

佐久間 恵美/編

M35

BEJ-0158



